

研修マニュアル（呼吸器外科） ver.1.0

(2025/1/15 作成)

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	8:00~8:20 抄読会 <u>西 5 F 面談室</u>	7:30~ 病棟カンファ <u>西 5 F 面談室</u>	8:10~ リサカン <u>西 5F カンファ室</u>	7:30~8:10 術後症例報告 術前症例検討 <u>西 5F 面談室</u>	7:30~ (隔週) 病棟カンファ <u>西 5F 面談室</u>
	8:20~8:40 外科合同症例検討会 <u>西 5F カンファ室</u>			8:10~ 胸部外科症例検 討会 <u>西 8F カンファ室</u>	
午後	8:40~ 病棟カンファレンス <u>西 5 F 面談室</u>	8:40~9:00 病棟回診 手術	8:30~9:00 病棟回診 病棟業務 (第 2 週は手術)	8:30~9:00 教授回診 病棟業務	8:30~9:00 病棟回診 手術
	8:50~9:00 病棟回診 病棟業務			11:00~ 病理切り出し <u>病理部</u>	
	11:00~ 病理切り出し <u>病理部</u>				
午後	病棟業務 17:00 病理カンファレンス (月 1 回) <u>2F 病理室</u> 18:00~ 呼吸器センター カンファレンス <u>西 5 階カンファ室</u>	手術	病棟業務 (第 2 週は手術)	病棟業務	手術

研修期間

4 週間以上が望ましい。

将来本科を希望する場合は 3 ヶ月以上が望ましい。

研修内容及び方法・手技

病棟の患者のチーム指導医と共に担当医となり病棟業務に従事する。

外来の新患の診察（予診）を担当する。

他科合同カンファレンスに参加する。

術前プレゼンテーション準備を指導医と共に行う。

症例検討会に参加し、担当患者を症例提示する。

回診には参加する。

到達目標

1 ヶ月目：医療面接、身体診察法、臨床検査解析、術前術後管理、

外科基本的手技

2 ヶ月目：症例プレゼンテーション、evidence 収集と治療法の検討、

病棟での創部管理、縫合結紮等術者

3ヶ月目：開腹閉腹術者、手術助手、簡単な手術術者

手技(3ヶ月間目安)

呼吸器外科

手術適応の理解	30例
呼吸器の手術法と解剖の理解	30例
胸部の開胸と肺の露出と閉胸	30例
胸腔鏡操作の習得	30例
胸腔鏡による肺手術のための基本操作	30例
術後胸腔ドレーンの管理	30例
術後患者の管理	30例
胸腔穿刺、胸腔ドレーン挿入	3例
肺部分切除	2例

手術

呼吸器外科：定例手術日は、火、水(第2)、金であり、可能な限り手術に参加する。

病棟

研修開始前には呼吸器外科の研修担当医に連絡をとる。担当は症例に応じて決定し、レポート作成に必要な症例や興味のある症例があればその都度申し出る。

病室に入室したら、自己紹介、挨拶をして、病歴聴取、身体診察を行う。各種検査結果も踏まえて入院時診療録の記載をする。

日々の回診は朝・夕の最低2回は行う。

朝は上級医より早く来て回診しておくことが望ましい。

外来

新患の診察（予診）を担当する。主訴、既往歴、現病歴、生活歴を聴取し、その後、診察をする。必要な検査を考慮して上級医に報告する。

症例検討会

受け持ちの症例は、全てプレゼンテーションをする。

月曜日は外科合同で外科内で相談が必要な症例についてプレゼンテーション。

火曜日朝、1週間分の症例をプレゼンテーション（手術で曜日がずれる可能性

あり)。

木曜日は胸部外科で心臓血管外科・呼吸器外科の術前症例 1 例をプレゼンテーション。

サポート及びトラブル発生時の対応(PHS と不在時間)

わからないこと、困っていることがあったら必ず上級医に相談する。上級医不在で患者の件で急遽対応が必要な際は当番医に連絡する。